年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

三味一体
2022年度 特別勘定の現況

●投資環境（2022年度）

日本株式市場

当年度の国内株式市場は前年度末対比小幅に上昇しました。年度前半、新型コロナウイルスに対する行動規制の緩和によって経済活動が徐々に再開されたことや、大幅な円安進行に伴う企業業績拡大への期待などがプラス要因となった一方、欧米中央銀行の金融引き締め強化による景気後退リスクなどがマイナス要因となり、国内株式市場はボックス圏で推移しました。2022年12月に日銀による金融緩和政策の変更（事実上の利上げ）が行われたことにより円高・株安が進んだものの、2023年1月の日銀金融政策決定会合では政策変更が見送られたことや、東証がPBR（株価純資産倍率）1倍割れの企業に対して企業価値改善策の開示を求める方針を示したことが材料視されて、国内株式市場は3月上旬に年度中の高値を付けました。その後、米国やスイスの金融機関の信用不安から国内株式市場は下落に転じましたが、前年度末対比小幅に上昇して当年度を終えました。

外国株式市場

当年度の外国株式市場は下落しました。年度前半は、中国で新型コロナウイルス対策としてロックダウン（都市封鎖）が拡大されるとの懸念が高まったことや、世界的にインフレ圧力が強まるなか、FRB（米連邦準備制度理事会）による積極的な利上げへの懸念が高まり、外国株式市場は下落しました。年度後半は、インフレ率が鈍化するなか、FRBによる積極的な利上げ継続観測が後退したことを受けて、外国株式市場は上昇基調に転じましたが、年度末にかけては米国の地方銀行の破綻やスイスの大手金融機関の信用不安の高まりなどから下落し、前年度末対比でも下落して当年度を終えました。

日本債券市場

当年度、10年国債利回りは上昇しました。年度前半、インフレ指標の高止まりを背景に、欧米の主要中央銀行が政策金利の大幅な利上げを継続したことによる世界的な国債利回りの上昇を受けて、10年国債利回りは日銀が設定した長期金利の変動許容幅の上限に近い0.22−0.25％の狭いレンジ内で推移しました。年度後半、日銀金融政策決定会合で長期金利の変動許容幅を±0.25％程度から±0.50％程度に拡大することが発表されると、10年国債利回りは0.5％程度まで急上昇する展開となりました。年度末にかけては、米国での銀行破綻をきっかけとした金融システム不安を背景に10年国債利回りは0.25％程度まで低下しましたが、年度を通しては上昇しました。

外国債券市場

当年度、米国債利回りは上昇しました。年度前半、世界的にインフレの高止まりが懸念されるなか、FRBが2022年3月の会合で政策金利の引き上げに踏み切り、その後も大幅な利上げを継続したことで、米国債利回りは上昇基調で推移しました。年度後半は、雇用統計やCPI（消費者物価指数）に落ち着きが見られ、FRBによる金融引き締め長期化への懸念が後退したことから、米国債利回りは低下基調に転じました。年度末にかけては、雇用・物価指標が堅調となった一方、米国の銀行破綻を受けた欧米の金融システム不安の高まりから米国債利回りは大きく低下しましたが、前年度末対比では上昇して当年度を終えました。
当年度、ドイツ国債利回りは上昇しました。資源価格の高騰などを背景としたインフレが高進するなか、2022年7月のECB（欧州中央銀行）会合で0.5％の利上げに踏み切り、その後も利上げを継続する姿勢を示したことから、ドイツ国債利回りは上昇基調で当年度を終えました。

外国為替市場

米ドル円為替レートは、年度前半は米国のインフレ率の高まりや金融政策正常化を急ぐ姿勢を受けて米国債利回りが上昇し、日本と米国の金利差拡大を背景に円安米ドル高となりました。年度後半は、FRBによる利上げ継続への懸念が後退したことや、日銀が10年国債利回りの変動許容幅を拡大したことなどを背景に円高米ドル安が進行しましたが、前年度末対比では円安米ドル高の水準で当年度を終えました。
ユーロ円為替レートは、インフレ率の高止まりやECBによる金融政策正常化に向けた動きを背景に円安ユーロ高基調で推移しました。米国CPIが事前予想を下回ったことを受けて世界的に利上げ継続懸念が後退し円高ユーロ安となる局面もありましたが、ユーロ圏の景気が底堅いことを受けたECB高官による金融引き締めに積極的な発言を背景に円安ユーロ高が進行し、前年度末対比円安ユーロ高の水準で当年度を終えました。

●運用実績の推移および運用方針

①当期の運用実績の推移	特別勘定の運用状況をご参照ください。
②当期の運用方針	当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。
③今後の運用方針	当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

当社は2022年度決算（決算日：2023年3月31日）を行いました。当資料は2022年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート（2023年4月発行（2023年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

B2305013-000

●特別勘定資産の内訳（2022年度末）

（単位：百万円）

区分	金額
	世界バランス45MU
現預金・コールローン	3
有価証券	119
公社債	–
株式	–
外国証券	–
公社債	–
株式等	–
その他の証券	119
貸付金	–
その他	–
貸倒引当金	–
合計	122

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況（2022年度）

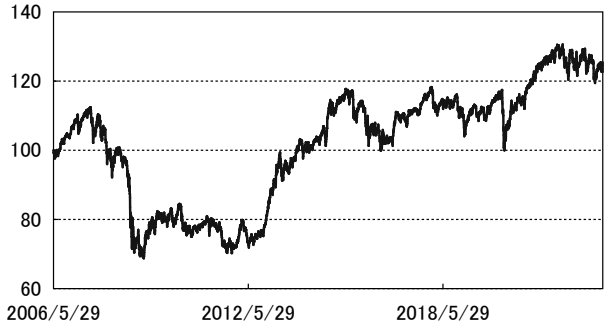
（単位：百万円）

区分	金額
	世界バランス45MU
利息配当金等収入	52
有価証券売却益	–
有価証券償還益	–
有価証券評価益	54
為替差益	–
金融派生商品収益	–
その他の収益	–
有価証券売却損	–
有価証券償還損	–
有価証券評価損	109
為替差損	–
金融派生商品費用	–
その他の費用及び損失	–
収支差額	−2

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況（2022年度末）

●ユニットプライスの推移



●ユニットプライスの期間収益率

	ユニットプライス	前月比	期間収益率（左記基準日より2023年3月末現在まで）
2022年3月31日	128.60	3.88%	−2.47%
2022年4月30日	126.33	−1.77%	−0.72%
2022年5月31日	125.88	−0.35%	−0.36%
2022年6月30日	124.76	−0.89%	0.53%
2022年7月31日	127.02	1.81%	−1.26%
2022年8月31日	126.77	−0.20%	−1.06%
2022年9月30日	122.94	−3.02%	2.02%
2022年10月31日	127.59	3.78%	−1.70%
2022年11月30日	125.99	−1.26%	−0.45%
2022年12月31日	120.73	−4.17%	3.89%
2023年1月31日	122.80	1.71%	2.14%
2023年2月28日	124.57	1.44%	0.69%
2023年3月31日	125.43	0.69%	–

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。
※ユニットプライス（単位価格）とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット（単位）に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定　純資産総額の内訳

	金額（百万円）	構成比
投資信託	119	97.5%
現預金その他	3	2.5%
純資産総額	122	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。
※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●有価証券の売買状況（2022年度）

（単位：千口、千円）

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス45MU	三菱UFJバランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	–	–	61,728	65,807

※単位未満切捨て

●保有契約高（2022年度末）

（単位：件、百万円）

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険GF　三味一体	8	114

※単位未満切捨て

●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス45MU	三菱UFJバランスファンド45VA（適格機関投資家限定）	三菱UFJ国際投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式25%、日本債券（短期金融資産を含む）30%、外国債券25%です。

【組入投信の運用概況】 2023年3月31日現在

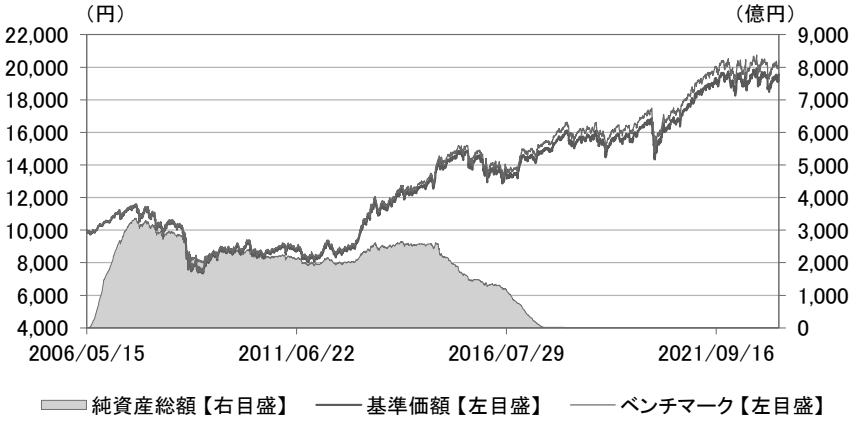
三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

■ファンドの特色

①NOMURA－BPI総合インデックス30%、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）20%、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）25%、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）25%で組み合わせた合成指数をベンチマークとし、この動きを概ね捉えることをめざします。
②日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。
④実質組入外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	19,566円
前月末比	+180円
純資産総額	1.19億円
前月末比	+0.01億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第17期	2023/02/20	0円
第16期	2022/02/21	0円
第15期	2021/02/22	0円
第14期	2020/02/20	0円
第13期	2019/02/20	0円
第12期	2018/02/20	0円
設定来累計		0円

■騰落率

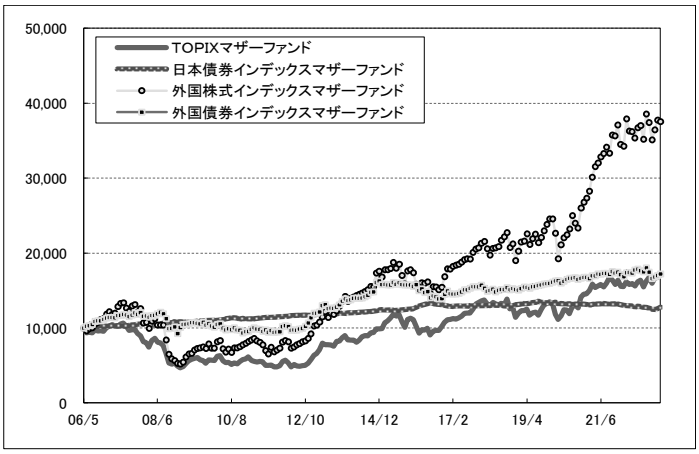
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.9%	4.7%	3.4%	0.0%	29.2%	95.7%
ベンチマーク	1.0%	4.7%	3.6%	0.3%	30.0%	104.0%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

	標準資産配分	比率
国内株式	20.0%	20.1%
国内債券	30.0%	29.9%
外国株式	25.0%	24.7%
外国債券	25.0%	24.8%
コールローン他	0.0%	0.5%

■各マザーファンド基準価額推移（月末値）



・グラフは三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。

・本資料は、三菱UFJ国際投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

【組入投信の運用概況】 2023年3月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移

・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.7%	7.2%	10.7%	5.8%	53.4%	71.3%
ベンチマーク	1.7%	7.2%	10.7%	5.8%	53.4%	69.4%

・騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内　現物	98.1%
内　先物	1.9%
コールローン他	0.0%

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク構成比
1 電気機器	17.8%	18.1%
2 情報・通信業	8.5%	8.7%
3 輸送用機器	7.3%	7.5%
4 化学	6.2%	6.3%
5 卸売業	6.0%	6.2%
6 銀行業	5.8%	5.9%
7 医薬品	5.5%	5.6%
8 機械	5.3%	5.4%
9 サービス業	5.0%	5.1%
10 小売業	4.4%	4.5%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 2,162銘柄

銘柄	比率	ベンチマーク構成比
1 トヨタ自動車	3.5%	3.6%
2 ソニーグループ	2.9%	2.9%
3 キーエンス	2.2%	2.2%
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.8%	1.8%
5 日本電信電話	1.7%	1.8%
6 第一三共	1.4%	1.5%
7 武田薬品工業	1.3%	1.3%
8 三井住友フィナンシャルグループ	1.3%	1.3%
9 日立製作所	1.2%	1.2%
10 信越化学工業	1.2%	1.2%

・本資料は、三菱UFJ国際投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

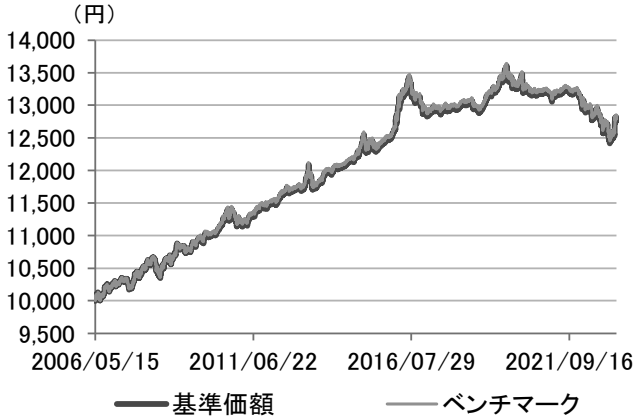
【組入投信の運用概況】 2023年3月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、NOMURA－BPI総合インデックスです。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.4%	2.3%	0.3%	−1.6%	−3.5%	27.8%
ベンチマーク	1.4%	2.2%	0.3%	−1.7%	−3.5%	28.1%

・騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内債券	99.6%
内　現物	99.5%
内　先物	0.1%
コールローン他	0.4%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	0.4%	0.4%
デュレーション	9.1	9.2

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
１年未満	0.2%
１～３年	19.0%
３～７年	27.7%
７～１０年	16.8%
１０年以上	35.8%

■種別組入比率

種別	比率
国債	83.1%
政保債	1.4%
地方債	6.0%
金融債	0.3%
事業債	7.0%
円建外債	0.4%
MBS	1.3%
ABS	0.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 850銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1 第363回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/06/20	1.4%
2 第142回利付国債（20年）	国債	1.8000%	2032/12/20	1.4%
3 第137回利付国債（20年）	国債	1.7000%	2032/06/20	1.3%
4 第364回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/09/20	1.1%
5 第356回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2029/09/20	1.0%
6 第359回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2030/06/20	1.0%
7 第149回利付国債（5年）	国債	0.0050%	2026/09/20	1.0%
8 第360回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2030/09/20	1.0%
9 第350回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2028/03/20	0.9%
10 第144回利付国債（5年）	国債	0.1000%	2025/06/20	0.9%

・本資料は、三菱UFJ国際投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA－BPI総合インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

【組入投信の運用概況】 2023年3月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移

・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−0.5%	6.9%	6.7%	−1.0%	95.1%	275.7%
ベンチマーク	−0.5%	6.8%	6.7%	−1.3%	93.3%	259.0%

・騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.2%
内　現物	95.0%
内　先物	5.3%
コールローン他	−0.2%

■組入上位10業種

業種	比率
1 医薬品・バイオテクノ・ライフ	8.5%
2 ソフトウェア・サービス	8.3%
3 資本財	6.5%
4 テクノロジ・ハードウェア・機器	6.4%
5 金融サービス	6.3%
6 銀行	5.2%
7 メディア・娯楽	5.1%
8 半導体・半導体製造装置	5.1%
9 エネルギー	5.0%
10 ヘルスケア機器・サービス	4.4%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,272銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.0%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.9%
3 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	1.8%
4 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.3%
5 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.2%
6 ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.1%
7 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.0%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	0.9%
9 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	0.9%
10 UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	0.8%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	68.8%
2 イギリス	4.4%
3 フランス	3.6%
4 カナダ	3.4%
5 スイス	2.9%
その他	11.9%

・本資料は、三菱UFJ国際投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor’s)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

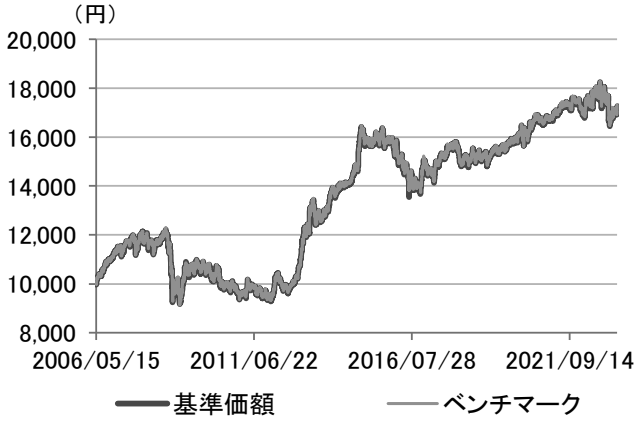
【組入投信の運用概況】 2023年3月31日現在

三菱ＵＦＪ バランスファンド４５ＶＡ（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険ＧＦ）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・当資料は、三菱ＵＦＪ国際投信株式会社による運用報告を、東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況　外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.3%	3.7%	−1.5%	−1.0%	5.6%	72.6%
ベンチマーク	1.3%	3.7%	−1.2%	−1.0%	5.5%	73.2%

・騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ　バランスファンド45VA（適格機関投資家限定）の設定日（2006年5月15日）の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国債券	98.8%
内　現物	98.8%
内　先物	0.0%
コールローン他	1.2%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	3.5%	3.5%
デュレーション	6.7	6.8

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.8%
1～3年	27.1%
3～7年	33.6%
7～10年	13.7%
10年以上	23.6%

■公社債通貨別組入比率

通貨	比率
1 米ドル	48.9%
2 ユーロ	33.3%
3 英ポンド	4.8%
4 中国元	4.7%
5 カナダドル	2.0%
その他	5.0%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 923銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 0.875 T-NOTE 301115	国債	0.8750%	2030/11/15	アメリカ	0.5%
2 2.5 T-NOTE 240531	国債	2.5000%	2024/05/31	アメリカ	0.5%
3 1.875 T-NOTE 320215	国債	1.8750%	2032/02/15	アメリカ	0.5%
4 2.75 T-NOTE 320815	国債	2.7500%	2032/08/15	アメリカ	0.5%
5 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.5%
6 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.4%
7 1.25 T-NOTE 310815	国債	1.2500%	2031/08/15	アメリカ	0.4%
8 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.4%
9 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.4%
10 1.125 T-NOTE 310215	国債	1.1250%	2031/02/15	アメリカ	0.4%

・本資料は、三菱UFJ国際投信株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）とは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）をもとに、委託会社が計算したものです。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項　目	内　容	費　用	備　考（適用時期等）
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の**4%**	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 （保険契約管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して年率**2.55%**	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%／365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用関係費用* （資産運用管理費）	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率**0.2827%**程度 （税抜0.257%程度）	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して年率0.2827%程度／365日を乗じた額を毎日控除します。
年金支払期間中	保険関係費用 （年金管理費）	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して**1.0%**以内	年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除します。

＊ 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品はご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動（増減）につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。
また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。 また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険　三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金（年金支払期間15年）のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社
ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ
0120-155-730
受付時間　平日　9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。）

200101